

第4回最新の天文学の普及をめざすワークショップ参加者募集

「最新の天文学の普及をめざす会」は、プラネタリウムや公開天文台など、天文教育担当者を対象にブラックホールなど最新の高エネルギー天文学を学ぶワークショップを下記のように開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

日 程：2008年9月15日13時～17日15時

場 所：広島大学宇宙科学センターおよび広島大学東広島天文台

宇宙科学センター：〒739-8526 東広島市鏡山1-3-1 宇宙科学センター

東広島天文台：〒739-0023 東広島市西条町下三永695番地1

定 員：30名

参加費：およそ1万7,000円(主に会期中の宿泊費、食事及び懇親会費)

応募方法：希望者は氏名、連絡先、e-mailアドレス、所属を明記して、レポート「ブラックホールに対する私の興味」(A4, 1ページ程度)を添付して7月6日までに国立天文台天文情報センターの伊東までお送りください。参加者選考結果は7月20日に本人あて通知します。

応募締切：2008年7月6日(日)

応募先：〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1

天文情報センター 伊東昌市あて

Tel: 0422-34-3802 Fax: 0422-34-3812

E-mail: shoichi.itoh@nao.ac.jp

主 催：最新の天文学の普及をめざす会(会長：伊東昌市)

共 催：日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、天文教育普及研究会

後 援：広島大学、広島大学東広島天文台(宇宙科学センター) 国立天文台、日本天文学会、

宿泊場所：ホテル「スリープイン東広島」他(予定)

Tel: 082-426-2222

ワークショップの目標

(1) 最近のブラックホール、高エネルギー天文学研究の成果をプラネタリウム、公開天文台、科学館あるいは学校などの教育に組み入れるため

(2) ブラックホールを理解するためのフレームワーク作りのため

(3) 研究者とのコラボレーションのための種とする

(4) 広く大勢の人々にブラックホールあるいは高エネルギー天文学について興味を持ってもらう

ため

(5) 実際にガンマ線バースト観測を行っている望遠鏡を使って高エネルギー天文学現場を学び、子ども達へブラックホール研究について伝える

(活動プログラム：予定)

第一日目 13:00 受付 広島大学
13:30~14:00 オリエンテーション
14:00~15:00 講義1. オーバービュー (ブラックホール研究史、現状と課題の紹介):
嶺重 慎 (京大教授)
15:15~16:45 講義2. 中性子星とパルサー (観測的性質と理論): 柴田晋平 (山形大
教授)
17:00~18:30 講義3. X線観測 (連星系、銀河核、時間変動): 北本俊二 (立教大教
授)
第二日目 7:00~7:30 朝食
8:00~8:30 広島大学へ移動
8:30~10:00 講義4. 光学観測 (連星系、時間変動、観測実習?): 植村誠 (広大助
教)
10:15~11:45 講義5. 電波観測 (ジェット、水メーザー、VLBI): 平林久 (JAXA/ISAS
教授)
12:00~12:50 昼食
13:00~14:30 講義6. ブラックホールジェット (理論・シミュレーション): 嶺重 慎
(京大教授)
14:45~16:15 講義7. 一般相対論の世界I (その基本と重力波放射): 三尾典克 (東
大准教授)
16:15~17:30 東広島天文台へ移動
17:30~17:50 発表1: 川口市立科学館の「ブラックホール」をテーマとした教育活動 (根
本しおみ: 川口市立科学館)
17:50~18:10 発表2: 平塚市博物館の「ブラックホール」をテーマとした教育活動 (鷹
宏道: 平塚市博物館)
18:15~19:50 天文台観測実習
20:00~22:00 懇親会
第三日目 8:00~8:30 朝食
8:30~9:00 広島大学へ移動
9:00~10:30 講義8. 一般相対論の世界II (重力レンズ、演習): 米原厚憲 (京都産
業大講師)
10:45~12:15 講義9. ブラックホール形成と進化 (観測とそれに基づく理論): 谷口
義明 (愛媛大教授)
12:30~13:30 昼食
13:30~15:00 講義10. ガンマ線バーストとブラックホール: 山崎了 (広大助教)
15:15~15:30 総括
15:30 解散

なお、本ワークショップは「子ども夢基金助成補助」を受けて実施します。